

視察（研修）報告書

平成 28 年 10 月 31 日

府中市議会議長 様

会派名又は

議員名 檜 崎 征 途

日 時	平成 28 年 10 月 24 日～10 月 25 日
視 察（ 研 修 ） 先	福岡県篠栗町、長崎県壱岐市
視 察（ 研 修 ） 項 目	バイオマス計画・議会タブレットについて
参 加 者	檜 崎 征 途
視 察（ 研 修 ） 内 容	・あらゆる分野で廃棄物系バイオマス、利用活用計画を作成する。 ・壱岐市の費用対効果では、紙ベースでは年 350 万円、タブレットは初期では－77 万円、2～3 年後では－100 万円の削減になる。それ以外に印刷代、廃棄物処理費、職員の労務軽減、事務連絡の簡素化が図られる。
所 感	・あらゆる分野で廃棄物系バイオマス、利用活用計画を作成する。資源回収専用ストックヤードを町内 3 カ所に設置品目別に指定場所を設ける。 府中では BG 温水プールを建て替えの予定がある、周りを山で囲まれている府中市も、篠栗町を見習い化石燃料の見直し、木質チップを燃料とするボイラーも考えられるのでは。 ・導入効果は、議案審議活性化、議員の利便性、スケジュール管理及び情報の共有化など。今後、災害時の活用、（緊急連絡、写真・動画による状況報告、ハザードマップ）。 市が導入することになると、使いこなせるか心配であるが使い込んで慣れるしか仕方がないと思う。無料というのは市民の反感を買うと思われる。議員の負担は必要。